

先生各位

検査内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、下記に掲げる検査項目におきまして、検査受託中止および検査内容を変更させていただきたくご案内申し上げます。

何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

記

■最終受付日 平成 28年3月30日(水)ご依頼分をもって受託中止

■検査受託中止項目

案内書 掲載頁	項目コード 統一コード	検査項目	受託中止理由
89	5396 5D415	癌関連ガラクトース転移酵素(GAT)	測定委託先における中止の為

■実施日 平成 28年3月31日(木)ご依頼分より

■変更項目および変更内容

案内書 掲載頁	項目コード 統一コード	検査項目	変更箇所	新	現	備考
35	1308 3C046	アミノ酸11分画	基準値	フィッシャー比:2.31~4.29 ※フィッシャー比のみの変更でその他の成分の基準値の変更はございません。	フィッシャー比:2.3~4.3	測定委託先における変更の為
55	3756 5E031	クラミア・ニューモニエ抗体IgG	検査項目名	クラミドフィラ(クラミア)・ニューモニエ抗体IgG	クラミア・ニューモニエ抗体IgG	
	3755 5E032	クラミア・ニューモニエ抗体IgA		クラミドフィラ(クラミア)・ニューモニエ抗体IgA	クラミア・ニューモニエ抗体IgA	
	3757 5E033	クラミア・ニューモニエ抗体IgM		クラミドフィラ(クラミア)・ニューモニエ抗体IgM	クラミア・ニューモニエ抗体IgM	
74	3421 5G300	TSH刺激性レセプター抗体(TSAb)	保存方法	冷蔵	凍結	
75	4146 4Z280	オステオカルシン (BGP)	検査方法	FEIA	IRMA(ヒート・ス固相法)	
			基準値(単位)	8.3~32.7 ng/mL	3.1~12.7 ng/mL	
			報告下限	0.5 ng/mL 未満	1.0 ng/mL 未満	
			所要日数	4~7日	5~8日	
76	4268 5G342	抗IA-2抗体	所要日数	5~11日	6~12日	
78	4213 4E065	セロトニン(血液)	基準値(単位)	52.8~200 ng/mL	53~200 ng/mL	
78	4203 4E016	尿中カテコールアミン3分画	基準値(単位)	A:1.1~22.5 μg/day	A:1~23 μg/day	A:アドレナリン
				NA:29.2~118 μg/day	NA:29~120 μg/day	NA:ノルアドレナリン
				DA:100~1000 μg/day	DA:100~1000 μg/day	DA:ドーパミン
78	4216 4E021	遊離カテコールアミン3分画	基準値(単位)	A:0.6~14.1 μg/day	A:1~14 μg/day	
				NA:9.7~41.4 μg/day	NA:10~41 μg/day	
				DA:120~310 μg/day	DA:120~310 μg/day	

ご不明な点等ございましたら貴院担当もしくは弊社お客様窓口までお申し付け下さい。

裏面もご確認下さい。

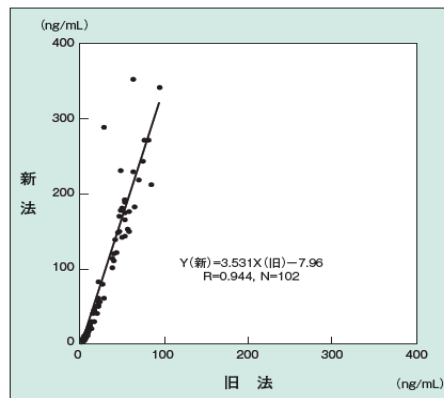
案内書掲載頁	項目コード 統一コード	検査項目	変更箇所	新	現	備考
82	4316 4F055	プレグナンジオール	基準値(単位)	M: 0.12~0.93 mg/day F(卵胞期): 0.16~1.28mg/day F(黄体期): 0.69~4.70mg/day F(閉経後): 1.00mg/day以下	M: 0.1~1.0mg/day F(卵胞期): 0.2~1.3mg/day F(黄体期): 0.7~4.7mg/day F(閉経後): 1.0mg/day以下	測定委託先における変更の為
83	4302 4F010	エストロゲン総 非妊婦	所要日数	10~22日	10~16日	
85	4521 4Z275	エリスロポエチン	検査方法	CLEIA	RIA(2抗体法)	
			検体量	血清 0.7mL	血清 0.5mL	
			基準値(単位)	4.2~23.7 mIU/mL	9.1~32.8 mIU/mL	
			報告下限	0.6mIU/mL 未満	4.0 mIU/mL 未満	
		所要日数	4~5日	5~8日		
126	8C051	EGFR遺伝子変異解析	検体量	組織 30mg(3mm角)	新鮮組織 0.5g	
未掲載	1156 5C100	L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)	検査方法	CLEIA	ELISA	
			検体量	部分尿 2.0mL	部分尿 1.5mL	
			報告下限(濃度)	0.50 ng/mL 未満	1.50 ng/mL 未満	
			所要日数	4~6日	5~7日	
			備考	注1		

注1.凍結保存及び他項目との重複依頼は避けて下さい。酸性蓄尿は、検査値に影響を及ぼす場合がありますので避けて下さい。室温保存ではデータ影響が認められる為、速やかに冷蔵保存にてご提出下さい。基準値の変更はございません。

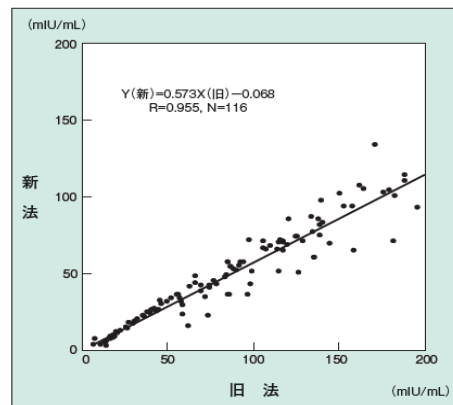
尚、平成28年4月1日より、検査実施施設・測定委託先のアルファベット表記におきましては、測定委託先の表記に準じ、OAA・OAM・OAA・OAE・OAF・OAHを統合し、OAAの表記とさせていただきます。また、検体の保存条件につきましては、「絶凍」と「凍結」を統合し、「凍結」表記とさせていただきます。

《新旧二法の相関》

オステオカルシン



エリスロポエチン



L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)[CLEIA]

